

ICカードをMS-DOS™やMS-WINDOWSV3.0で使う方法

Q: FM RカードやFM-NOTEBOOKで作成したICカードの中のデータをFM TOWNSのMS-DOS™で同じように使いたいのですか?

A: MS-DOS™V3.1では次期レベルのL34からICカードのサポートを行うようになります。MS-WINDOWSV3.0ではその後に予定されているL14から対応を計画しています。レベルアップ時期についてはプラザ、FMシャトル等でご案内を差し上げます。

Microsoft®社の『MPC™』仕様とMS-WINDOWSV3.0MME

Q: Microsoft®社が発表したマルチメディアWINDOWS用のパーソナルコンピュータのハードウェア規格『MPC™』について教えてください。また、FM TOWNSシリーズでは『MPC™』のマークがありませんが、今春にMS-WINDOWSV3.0MMEが提供されると聞きました。動作の点で問題はないのでしょうか?

A: 『MPC™』は1990年11月に米国Microsoft®社が、マルチメディア用WINDOWSシステム(MS-WINDOWSV3.0MME)の仕様と同時に発表した、基盤となるパーソナルコンピュータのハードウェア仕様のことです。この仕様に準拠するパーソナルコンピュータやアプリケーションソフトウェアのパッケージに『MPC™』のマークを表記して、MS-WINDOWSV3.0MMEとの互換を一目でわかるようにすることを目的としています。ただしこの『MPC™』マークはMS-WINDOWSV3.0MMEの動作環境の必要条件ではありません。『MPC™』に準拠する機能を備えたFM TOWNSシリーズは、MS-WINDOWSV3.0MMEの動作環境として高いコストパフォーマンスを発揮するパーソナルコンピュータであるとご理解いただける筈です。

『MPC™』仕様は大体、以下のような項目により構成されています。

CPU: i386SX か 相当するCPU
RAM: 2MByte
磁気記憶装置: 3.5inch FD
30MByte HD
Audio: CD-ROM (CD-DA出力を備えたもの)
音声/音楽の処理が可能である。
Video: 16色あるいは256色表示
User Input: 標準DINコネクタを備えた101鍵盤のキーボード
2ボタンマウス
I/O: 9ピンか25ピンのシリアルI/Oポート (RS232C)
25ピンのパラレルI/Oポート (セントロ)
MIDIポート
アナログかデジタルのジョイスティックポート

上記の項目について、記述以上の性能を搭載しているパーソナルコンピュータが『MPC™』の認定を受けます。各項目の詳細性能を除き、大要の条件は満たしているためにMS-WINDOWSV3.0MMEの動作を実現できる訳です。FM TOWNSの詳細についてはカタログをご覧ください。

【編集からのお知らせ】

FM TOWNSに関するご質問をお寄せください。お寄せいただいたご質問の中から『ひとくちアドバイス』で採用させていただいた方については、他では手に入らないFM TOWNSオリジナルグッズを差し上げます。ご質問の送り先はNIFTYか葉書で『編集者』宛にお願いいたします。

発行日 : 1992年2月21日
編集者 : 富士通株式会社 パソコンシステム統括部 FM TOWNSシステム部 第1システム課
☎144/東京都大田区新蒲田1-17-25 情報処理システムラボラトリ
NIFTY-Serve. ID = NAC02031 林
次号発行日 : 1992年3月6日